



2015年5月1日

各 位

会 社 名 伊藤忠商事株式会社  
代表者名 取締役社長 岡藤 正広  
(コード番号 8001 東証第一部)  
問合せ先 IR 室長 中島 聡  
(TEL. 03-3497-7295)

**当社子会社(エキサイト株式会社)の個別事業の前期実績値との差異に関するお知らせ**

当社の子会社であるエキサイト株式会社の平成27年3月期個別業績につきまして、前期実績値との間に差異が生じたので、お知らせいたします。

(添付)

- ・エキサイト株式会社の開示資料

以上



平成 27 年 5 月 1 日

各 位

会 社 名 エキサイト株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 今川 聖  
(コード番号：3754 JASDAQ)  
問 い 合 っ せ 先 取締役 CFO 岩崎 達士  
(電話：03-6450-2729)

## 特別損失の計上（個別決算）及び

### 連結業績予想の修正並びに個別業績の前年実績値との差異に関するお知らせ

平成 27 年 3 月期個別決算において特別損失を計上するとともに、最近の動向を踏まえ、平成 27 年 3 月期 通期連結業績予想の修正及び平成 27 年 3 月期 通期個別業績につき前年実績値との差異が生じる見込みとなりましたのでお知らせいたします。

## 記

### 1. 平成 27 年 3 月期 通期 連結業績予想の修正

通期連結業績予想値（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

単位：百万円

|                            | 売上高   | 営業利益   | 経常利益   | 当期純利益  | 1 株当たり<br>当期純利益 |
|----------------------------|-------|--------|--------|--------|-----------------|
| 前回予想 (A)                   | 7,000 | 300    | 270    | 250    | 円 銭<br>39.62    |
| 今回予想 (B)                   | 7,100 | 230    | 160    | 120    | 19.02           |
| 増減額 (B - A)                | 100   | △70    | △110   | △130   | —               |
| 増減率                        | 1.4%  | △23.3% | △40.7% | △52.0% | —               |
| (参考)前期実績<br>(平成 26 年 3 月期) | 7,336 | 291    | 226    | 203    | 32.28           |

### 修正の理由

弊社は、平成 27 年 3 月 1 日よりブロードバンド事業の更なる成長への布石として東日本電信電話株式会社、西日本電信電話株式会社が提供する光回線の卸モデル「光コラボレーション」を採用した新サービス「excite 光」の提供を開始いたしました。当社ブロードバンド事業は、当第 3 四半期までの累計営業利益が前期比 59.0%増となる等着実に増益が続き、当第 4 四半期も堅調な状況にあり、当社収益の安定基盤となっています。今回の光回線卸モデルの解禁は、将来の成長のために避けては通れない千載一遇のチャンスと捉え、広告宣伝・販売促進及びカスタマーサポートセンターの増設の為に先行投資に敢えて踏み切りました。それに伴い、営業利益は前回予想を下回る見込みです。

また、イベント等票券管理事業会社が減益となったことによる持分法投資損失の悪化に加え、シナジー効果が見込めない投資有価証券の減損処理を行った結果、経常利益及び当期純利益にお

きましても前回予想を下回る見込みとなりました。

なお、配当予想につきましては、修正はありません。これまでどおり期末配当にて1株当たり15円の配当を実施する予定です。

## 2. 平成27年3月期 通期個別業績の前年実績値との差異

通期個別業績の前年実績値との差異（平成26年4月1日～平成27年3月31日）単位：百万円

|          | 売上高   | 営業利益  | 経常利益  | 当期純利益  | 1株当たり<br>当期純利益 |
|----------|-------|-------|-------|--------|----------------|
| 前期実績（A）  | 7,111 | 265   | 273   | 262    | 円 銭<br>41.53   |
| 当期予想（B）  | 6,900 | 250   | 260   | 80     | 12.68          |
| 増減額（B－A） | △211  | △15   | △13   | △182   | —              |
| 増減率      | △3.0% | △5.7% | △4.8% | △69.5% | —              |

### 差異の理由

シナジー効果が見込めない「其他有価証券」の減損処理に加え、イベント等票券管理を行う「関連会社株式」の過去の累積損失に対し単体決算上も減損処理を行い、合わせて148百万円の特別損失を計上したことにより、当期純利益が前期実績を下回る見込みです。なお、「関連会社株式」の損失につき、単体上は累積損失を一時に処理するため影響は大きくなりますが、連結上は「持分投資損失」として每期継続的に取り込んでいるため、当期連結業績への影響は、当期発生した損失のみに限定されることとなります。

（注）上記の業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる可能性があります。

以上